



心電図検査 (1年生のみ) 11月27日(金) 午後

全身に血液を送り、酸素・栄養を細胞に届け、二酸化炭素・老廃物を細胞から受け取るなど、私たちの生命にはなくてはならない心臓の検査をします。(心) 臓から出るわずかな (電) 気信号をキャッチして (図) にするので「心電図」と言います。

ベッドに横になり、胸に吸盤を貼り付け、手首・足首を大きなクリップで挟んで検査します。1人1分ほどで終わります。大切な検査がスムーズに行えるよう、みんなで協力しましょう。(小学校1年生のときにも受けています。覚えているかな?)



まめ知識 ① 心臓振盪

頭を強く打ってふらふら…「脳しんとう」というコトバは聞いたことがある人も多いと思います。「心臓しんとう」も胸を打ち付けて起こるものです。胸に、「あるタイミング」で衝撃が加わった時に命にかかわる不整脈(心臓がけいれんを起こし、血液を送れない状態)が発生する…というものです。骨がまだ柔らかい子ども(多くは18歳以下)に起こると言われています。骨が折れるような強い力で起こる!というのではなく、打つ場所・タイミングによって起こるようです。野球・空手などのスポーツや、子どもの遊びの中で起こる可能性があります。もし、あなたの周りで胸に何か当たり、突然倒れた人がいたら、すぐに周りの人に助けを求め、救急車を呼ぶとともに、**AED、心臓マッサージ** での救急救命をしてください!



まめ知識 ② AED

AEDは心臓がけいれんを起こして血液を送れない状態になった時に、【電気ショック】を与え、元の拍動に戻す機械です。AEDをONにすると(ふたを開けるだけでONになるものもあります)、音声で指示があるので、方法が分からない人でも大丈夫☆ また、AEDは、倒れている人の心電図を自動的に読み取り、電気ショックが必要かどうかを判断してくれるので、必要のない人には作動しないようになっています。「もし間違っただけで事故が起きてしまったらどうしよう…」という心配はしなくて大丈夫です。AEDが必要かも!!と思ったら自信を持って使ってくださいね(^ ^)/ また、使えなくても「助けを呼んで、自分はAEDを取りに行く」だけでも中学生として役割を担うことができたといえるかもしれません。

もしもの時は「**勇気**」を出そう!!

二中のAEDは2ヶ所☆ →

